

令和7年度 高松市地域学校協働活動【活動報告】

モデル校	木太小学校
地域学校協働活動推進員 (コーディネーター)	1名 (主な役職) 元 PTA 会長



1. 地域と学校が共に目指している事

- ・学校教育目標 「自ら切り拓き とともに歩む」
- ・学校と地域の共通意識を持つ（幅広い人たちとの交流・学び、地域行事への興味・関心など）

2. 活動の内容

【第1回】 6月13日（金）

- ・学校教育目標等について承認を得る。
- ・地域学校協働活動（木太っ子あまから隊）に向けて今後の取組について説明する。

【第2回】 9月30日（火）

- ・「木太っ子あまから隊」の取組について、子ども、地域の視点から振り返る。
- ・活動支援（昼休みの見守り活動）について検討する。

【第3回】 2月5日（木）

- ・本年度の学校経営の成果と課題の報告
- ・昼休みの見守り活動について、第1回目の試行の様子を報告
- ・高松市地域学校協働活動推進員委嘱
- ・来年度の年間行事、学校徴収金について承認を得る。

3. 今年度の成果

○活動支援（昼休みの見守り活動）について

昨年度から検討してきた活動支援である。

- ・ 9月：コーディネーターと学校運営協議会委員の方が、地域に働きかけ、活動支援に参加していただける方を募集。
- ・ 新しく学校運営協議会委員になられた方、コーディネーター、教頭が再度、川東小に視察に行き、見守り活動を行っている様子を見学するとともに、見守りを行っている方から話を聞いた。
- ・ 保護者にも募集をかけ、参加していただける方への説明会を12月に行った。
- ・ 3学期に4回試行を行い、来年度4月から本格実施の運びとなった。
- ・ 地域の方が見守り活動を行ってくれていることは、児童も教員も安心につながっている。

○木太っ子あまから隊

- ・ 毎年8月に木太小学校の運動場で行われているあまから水祭り。そこで行われる「あまから踊り」を盛り上げるために、総合的な学習の時間であまから水祭りについて学習した4～6年の児童を中心に「木太っ子あまから隊」を結成し、活動に取り組んだ。
- ・ 児童発案で、手作りはっぴやうちわの製作、あまから踊りのよさや踊り方の説明を行った。
- ・ 地域の方や高校生が製作の指導に当たり、総踊りでは地域の方と児童が一緒になり、楽しんだ。
- ・ 盆踊りみたいになってきたと感想もいただき、地域住民からも好印象であり、来年度以降も無理なく継続していきたい。



4. 次年度に向けての課題

- ・ どんな学校、地域にしたいかなど子どもたちが参加し、意見を言える場をもつ。
- ・ 子ども会活動や PTA 活動の現状を踏まえたうえで、地域と学校が一体となり、子どもたちの学びと育ちを支えていけるよう、協力して取り組んでいく。

地域学校協働活動

コーディネーター

1. コーディネーターの主な活動内容

No	項目	内容
①	あまから水まつり	「あまから水まつりに参加してまつりを盛りあげよう」～あまから音頭を踊る～ ・ 参加対象：4～6年児童希望者。3年総合学習で学んだことを継続・実践へ ・ 児童たちで話し合い、地域の方々に協力してもらい準備する。 ・ 児童たちの案の取り入れ方を相談、はっぴ・うちわの制作助言と手伝い、あまから踊りの指導 ・ 踊り以外：6年が図画工作で制作した「光のオブジェ」を展示し、アートで祭りを盛りあげた。ポスターやチラシを作成・配布 

②	学校生活支援ボランティア等	・ ミシン学習補助、町たんけん付き添い、昔遊び、読み聞かせ、校庭清掃（木の剪定など） ・ 昼休み見守り隊：活動の方法やボランティアの募集等、学校運営協議会で検討、先進的な活動（川東小学校）から情報収集
---	---------------	---

2. 苦労したことや、今後解決しようと考えている事

- ・ 今まで継続してきたことが変化することや新しい活動に対して、地域の方々はどう思
うかなど意見を何度も聞き、話す機会を多く持つことを大事にした。

3. 成果・効果

- ・ 児童の参加が地域の方々には好評で大変喜んでもらった。継続を望む声も聞いている。
- ・ 関わっていただいた方が増えてつながりもできた（中・高・大学生にも声がけ）。
- ・ 自分たちで考え、進めていく子どもたちの姿がとても生き生きとしていた。

4. これまでの活動全般を通して感じていることや、今後の展望など

- ・ 今年度、学校運営協議会委員の見直しを校長先生に相談した。結果、停滞していた話（昼休み見守り隊）がスムーズに進んでいる。委員の確保も重要と思った。
- ・ 地域コーディネーターという役の存在がまだ薄く、役割を知ってもらえるようにしたい。
- ・ 多くの人で分担して負担のない協力体制を構築したい。（細く長く継続できる活動を目指す）
- ・ 木太町はひとつ。いつか町内の学校で連携して同じ目標をもって地域行事に参加したい。



学 校

1. 成果・効果と今後の見通し

- ・造形教育をきっかけとして、地域行事への参画など多様な取組が進められた。
- ・限られた時間や人的リソースの中で実施していく現状を踏まえると、従来から行っている事業の見直しや廃止を含め、取組を増やす一方にならないよう整理していく必要がある。